

# 三峰山・倶留尊山・高見山

毎日新聞旅行

1・2日

みうねさん

くるそさん

たかみやま



高見山の霧氷

奈良県と三重県にまたがる吉野山は、春には桜で有名であるが、冬は霧氷で有名みたいである。まさに霧氷のオンパレードであった。300名山に三つ登るということで行ったのであるが、こんなにすごい景色に巡り合えるとは、うれしい誤算というやつである。例によって300名山といういつものメンバーがいる。昨年大千軒岳や剣山で一緒だったSノさん、すでに300名山は登りつくしたはずの出っ腹のKトウさん、剣山でも会った湘南バアサマ二人組のTダさん、その他にも知った顔がいた。



### 三峰山 (1235m)

これでミウネ山と読む。三畝と書くこともあるようであるが、三峰の方が一般的みたいだ。理屈が通っていない方が面白い。夜行バスで来て、日の出と同時位の歩き始めであるので、普通ならばきついはずであるが、例によって無神経ジジババ軍団は“眠いねー”程度の不平でいつものように歩き出す。最初のうちは戦争中の影響の残る杉林であったが、高度を増すにつれて霧氷がつかまりやすい枝に代わって行った。道は緩やかであり、日曜日でもあったので大阪方面からの「霧氷見客」で盛況であった。



**倶留尊山** (1038m)

ツアーリーダーは花岡さんと増田さんの、もと同じ山岳会の同窓会コンビ。その花岡さんが、“倶留尊山はオマケです”と言うので、楽勝と思ってしまったのが失敗であった。確かに所要時間は3時間程度と短かったが、二本ボソというピークと倶留尊山が双耳峰のような形を成していて、その間の降りと登りが結構きつい。“オイオイ、いい加減にしてよ”と言いたくなる。

下の方はパラグライダーの練習に最適と思わせる地形であるが、上に行くとやはり霧氷の世界であった。



### 高見山 (1248m)

今回の三つのうちで一番高いせい  
か、あるいは花岡さんの説明のよう  
に一番海に近いところに位置するた  
めか、霧氷のダイナミックな付き方  
も群を抜いている。頂上には避難小  
屋と神社もあって、存在感の大きさを誇示している。霧氷にもエビのしっぽを長く伸ばしたのや、木をすっぽり覆って次は樹氷を目指しているやつ等、樹氷のバラエティも豊富である。山の傾斜もきつからずゆるからずといったところで、月曜日にかかわらず登山客も結構いた。丹沢よりも低いし、西の方にある山に、こんなにもたくさんの雪があるということは、やはり花岡説が正しいのかと思わせる。





これで 300 名山は 56 個目になって、200 名山は 63 個だ。とりあえず各々 50 個を超えるくらいまでと考えていたので、一段落か。